



# 小児の「むし歯治療」

## 小児の治療は小児歯科に慣れた先生に！

### 1.小児歯科治療に慣れたドクターがいること

乳歯の治療は永久歯の治療と大きく異なることがあります。それは子供の成長時期に合わせた判断と治療が必要になるということです。**日本小児歯科学会所属の先生は、実は歯科医師全体の1割程度です。**当院院長は東北大学大学院で小児歯科を専門的に勉強しており、子供のむし歯が多い東北地方で10年近く小児治療に携わってきました。



### 2.子供が怖がらない麻酔

小児歯科でも麻酔は場合によって使用致します。ただ、できるだけ痛みがないような技術や雰囲気作りも含めて**できるだけお子様が治療に入りやすい環境作りができるのも小児歯科に慣れた先生だ**と思います。当院では塗る麻酔(表面麻酔)を使用し、患児に『麻酔したことを気付かれない麻酔』を心掛けております。

### 3.乳歯冠

乳歯のむし歯が大きい場合、根の治療が必要になります。乳歯の根の病気を放置すると膿がたまり、その近くで成長している永久歯に影響がでることがあります。根の治療をした後はしっかり噛めるように金属で覆われた被せ物が必要になりますが、**ここでも乳歯の特色があり大人とは異なる被せ物**をすることが小児歯科では一般的です。



優しい先生だよ！



ふたぎ歯科医院

